

久喜市国民健康保険税条例の一部を改正する条例（国民健康保険税率及び賦課限度額の改正）

◆第3回国民健康保険運営協議会における質問

Q1. 賦課限度額の改正が1年遅れとなっている理由は。

A1. 地方税法の改正が年度末に決定され、次年度4月1日からの施行には、議会の議決が間に合わないため、1年遅れとなっています。

Q2. 賦課限度額を超えてしまう世帯の割合は。

A2. 国民健康保険加入世帯の1%程度と認識しています。

Q3. 税率改正は保険税準統一となる令和9年度まで毎年行うのか。

A3. 令和9年度の準統一へ向けて段階的に引き上げが必要なことから、毎年行う予定です。

Q4. 今回の運営協議会で審議するのは、令和9年度までの3年度分の保険税率についてか、それとも令和7年度の保険税率のみか。

A4. 令和9年度まで段階的に引き上げるものの、今年度は令和7年度のみ
の審議です。

Q5. 税率改正が実施されるまであと3か月しかない。被保険者の方への周知はどのように実施するのか。

A5. 先行して4月にホームページへ掲載し、被保険者向けには税率改正のお知らせを送付予定です。

Q6. 久喜市の収納率は他市と比較してどうなのか。

A6. 久喜市の収納率は93.1%で、埼玉県内40市中、32番目です。

Q7. 令和6年度の国保税の収納状況としては、足りているのか。

A7. 令和6年度の財政状況は、決算剰余金が生じず、赤字に転じる可能性があります。

◆第3回国民健康保険運営協議会以降に提出された意見書について

- ① 国民健康保険の財源確保のために収納対策は必要と考えますので、収納率を底上げするよう収納対策を強化してはいかがでしょうか。

考え方：納期限を過ぎても納税の確認ができない方に対しましては、財産調査を徹底し、担税力のある場合には差押えなど滞納整理の早期実施を引き続き努めてまいります。

- ② 賦課限度額について、久喜市では、現在1年遅れで適用しているが、令和9年度までに遅れをとり戻すとのこと。令和7年度の賦課限度額は、医療給付費分、後期高齢者支援金等分、介護納付金分の合計109万円になることは、新聞等で報道されています。

保険税収入を増やす手段は早く行わなければならないと思うので、久喜市でも令和7年度から適用してはどうでしょうか。

考え方：賦課限度額につきましては、国が政令で規定する金額を上限として、賦課徴収の主体である市が条例で定めるとあります。この賦課限度額を上げるとは、世帯の負担増に繋がることから、議会の議決を得る必要があると考えております。

このことから、地方税法に係る政令の一部改正の正式通知が年度末に発出されるため、議会の議案上程が間に合わず、翌年度に一年遅れで議会の議決を得て、法定限度額を定めているところです。

また、埼玉県国民健康保険運営方針において、令和9年度の準統一に向けて法定限度額に合わせることを目指していることから、準統一までに合わせるよう進めてまいります。

- ③ 保険税が上がると低所得者世帯の負担が増えると思うのですが、低所得者層に対する対策が必要ではないのでしょうか。

考え方：国民健康保険の加入者は、他の医療保険制度と比べて所得水準が低いなど、構造的な問題を抱えておりますので、低所得者層に対する負担軽減策を拡充するよう国へ要望してまいります。

- ④ 収納率改善対策として、口座振替原則化の話がありますが、目につきやすい周知方法について、どのように考え対策していくのでしょうか。
HP掲載では、あまり見られないように感じてしまいます。

考え方：口座振替原則化に向けた取り組みについては、令和7年度が周知期間となることから、ホームページ掲載や納税通知書への案内文書の同封により、被保険者全員にお知らせする方法で周知することを予定しております。

- ⑤ 市町村国保が保険税水準の統一に向けて税率改正を続けており、被保険者の負担は大変激しいと思われます。
国の補助の確保や拡充が一層重要になると思うが、国への要望はどのようになされているのでしょうか。

考え方：国民健康保険制度に対する財政支援についての国への要望については、令和6年11月に開催された全国市長会や国民健康保険中央会など国保関係9団体主催による国保制度改善強化全国大会において、「国保の財政基盤強化のための公費投入の確保を確実に実施するとともに、保険者努力支援制度等が有効に活用されるよう、適切な評価と財政支援の充実を図ること。」について決議し、国に要望したところです。

- ⑥ 保険税収納率をみると久喜市は、92%～94%で近隣市町より低いと思われます。収納率が低い原因はどんなことでしょうか。

考え方：

- ⑦ 税率を改正しなかったときは、予算はどのくらい不足するのでしょうか。

考え方：賦課限度額合計106万円で、現行税率と税率改正案で比較いたしますと保険税額の収納見込み額において、1億5千4百万円の差がございますことから、予算としては約1億5千万円程度不足するものと考えられます。

⑧ その他の意見

- ・ 今後の税率に向けた段階的な引き上げと考えると致し方ない改正と思います。
- ・ 年々引き上がっていく税率や昨今の物価高騰を考えると、収納率の減少が続くような気がします。